広がるGI、高まる期待

PRや申請が加速

地域の特色ある農産品や食品のブランドを国が認定する地理的表示（GI）保護制度。長野、新潟両県の産地では、登録を生かしたPRや申請に向けた取り組みが加速している。

市田柿

長野県下伊那

7月に登録された長野県下伊那地方特産の高級干し柿「市田柿」は、加工の最盛期を迎えている。JAみなみ信州では「今年産の加工は晴天が多く、気温が順調に下がっているため品質は良好」（営農部）とし、今年は約1200トンの出荷を計画する。

JAでは、登録後初の出荷で「市田柿」をPRしようと、26日に東京都中央卸売市場大田市場でトップセールスを企画する他、GI登録を明記したちらしやポスターも製作した。同部は「国のお墨付きがもらえ、全国にPRするチャンス。輸出にも弾みをつけたい」と意欲を見せる。

果樹農家の飯田市座光寺の篠田耕一さん（40）の加工場には「市田柿」の〝柿すだれ〟がずらり。今年は、生果約1トンを干したという。篠田さんは「登録に恥じないよう、しっかりと加工したい」と気合を入れる。

篠田さんの加工場に干した「市田柿」

すんき

長野県木曽

長野県木曽地域の伝統的な漬物「すんき」は、7月に国へ申請された。地域に伝わる赤カブの茎葉を、塩や調味料を使わずに乳酸発酵させた漬物で「塩を使わない漬物」として全国から注目を集める。地元の生産者や加工業者らでつくる協議会は昨年の33トンを上回る40トン以上の生産を計画する。

協議会の事務局を務める県木曽地方事務所農政課は「知名度の向上と、本物の証明としてGIを活用したい」と期待を込める。

塩を使わずに、昨年漬けた「すんき」の乳酸菌だけで発酵させてつくる

くろさき茶豆

新潟市西区

新潟市西区黒埼地区の特産エダマメ「くろさき茶豆」は、新潟県で初のGI保護制度の登録を目指す品目だ。生産者やJA越後中央などでつくる市黒埼地区茶豆組合協議会が7月、登録を申請した。生産者らは、ブランド向上や地域の活性化を期待。地域の結束は一層、固くなっている。

「くろさき茶豆」は香りの豊かさが特徴だ。特に、ゆでた時の甘い香りに人気がある。「新潟茶豆」や「本茶豆」などの8品種を指す。収穫開始目安（さやの厚さ8ミリ）などの栽培指針を設けた。事務局を務めるJA越後中央東部園芸センターは「地域の活性化が最終的な目標。登録に向けて関係者がしっかりと話し合い、ブランド力を高めたい」と話した。

地域では200人ほどが「くろさき茶豆」の生産を手掛ける。作付面積は、転作エダマメ300ヘクタールのうちの4割とみられている。

地域に愛されるブランドエダマメ「くろさき茶豆」

2016 信越フォーカス

信越

情報提供はこちらへ

信越支局
長野市北石堂町1177－3
TEL026(236)2040
FAX026(224)6121
E-mail
shinetsu@agrinews.co.jp

新潟駐在
新潟市中央区東中通1－189－3
TEL025(224)4611
FAX025(224)2892
E-mail
niigata@agrinews.co.jp

長野中央会
長野市北石堂町1177－3
TEL026(236)2026
FAX026(223)0171

新潟中央会
新潟市中央区東中通1－189－3
TEL025(230)2010
FAX025(224)2892

今日の天気

のち 時々　降水確率(%)　午前　午後　夜半

新潟			
新潟	40	50	50
	18度		12度
長岡	40	50	60
	17度		11度
湯沢	40	50	60
	14度		9度
高田	30	50	50
	18度		11度
相川	30	30	20
	17度		13度

最高気温 / 最低気温

長野			
長野	10	30	30
	17度		8度
大町	10	30	30
	16度		6度
松本	0	10	10
	17度		8度
軽井	0	10	10

ドローン防除実演

米生産者ら導入利点学ぶ

細田政務官（右から2人目）に要請書を手渡す参加者（19日、新潟県燕市で）

【信州諏訪】JA信州諏訪は、諏訪市のすわこ営農センター近くの田で、無人航空機（ドローン）を使った農薬散布の実演会を開いた。地元の米生産者やJA役職員ら約30人が集まり、デモ飛行を見学したり、オペレーターからの説明を受けたりして、導入のメリットなどを学んだ。

散布容量が違う大小2台のドローンを用意。それぞれのタンクに水を入れて、農薬散布のデモ飛行を行った。参加者は、「飛行音が静か」「安定している」「飛行音が静か」「安定」いた。

新潟県JA

燕市にあ
水政務官の
JA越後中
経営管理委
A越後さん
則経営管理

規

現

農業法人も参加しセミナー

国内外経済情勢 景気見通し解説

JAバンク新潟県信連

【新潟】JAバンク新潟県信連は14日、第9回経済・金融セミナーを新潟市で開いた。同県信連の取引先企業をはじめ、初めて農業法人にも呼び掛けた。70人が参加し、国内外の経済情勢や景気見通しなどを学んだ。

バークレイズ証券㈱のチーフ・エコノミストの森田京平さんが「日本経済展望～岐路に立つアベノミクス」と題して講演した。森田さんは米国のトランプ次期大統領が、減税政策を進めるとの予測から、ドルが高くなっていると海外情勢を解説。「今後1年間は評価するだろうが、その後は保護主義のリスクが発生する」と予想を述べた。

国内情勢では、アベノミクスが成果を上げていないと指摘した。安倍政権になって株価は上がったが、個人消費を中心とした実態経済は低迷しており、景気という実感がないと強調。第1の矢（金融緩和）で金利が下がり企業利益は増えたが、第2の矢（成長戦略）が機能していないとした。

新潟市北区の木崎生産組合

【新潟市北区】で、秋冬ニが最盛期に するのは、 つくる木崎 組合だ。